

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年9月16日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年8月31日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校 (日本語名) University of California Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年5月～2023年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8月中旬～12月中旬      2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期:      ~                      4 学期:      ~
学生数	4
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル)	日本円	備考
授業料	6694.16	999875 円	
宿舍費	6829.24	1020050 円	
食費	600	89619 円	
図書費		円	
学用品費	30	4480 円	
携帯・インターネット費		21000 円	
現地交通費	80	11949 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	625	93353 円	
被服費	250	37341 円	
医療費		円	
保険費		41800 円	形態:
渡航旅費		53880 円	サーチャージのみ(マイル使用)
ビザ申請費	360	53771 円	
雑費	700	104555 円	
その他	1000	149365 円	プログラム終了後の旅行
その他	140	20911 円	荷物郵送
合計	17963	2683049 円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:羽田 目的地:サンフランシスコ 経由地:	
復路 出発地:サンディエゴ 目的地:羽田 経由地:ホノルル	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:日本航空 料金: 復路 航空会社:日本航空 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: )	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: ) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 )

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

過去の留学報告書をもとに、学校のHPから調べた。参考にするためにYouTubeに載っている動画なども見た。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

結論、Ihouseが一番楽しかった。夏の期間は正規の学生が、そもそも街に住んでいないことが多いので、私は基本的に寮で友達を作っていた。Unit1など他の量でも十分楽しめると思うが、Ihouseの3つの点が特に良かった。セキュリティがしっかりしている点、共有スペースが充実していて、そこで友達をたくさん作ることができる点、食堂が寮内にあるため、そこでもコミュニティが広げられる点がとても良かった。

初めの3週間程度は、留学生の数が少なく、明治生の割合が高かったので、寮選びを悔やみましたが、その後新たなセッションが始まるごとの100人200人と新たな学生が入寮してきたので、最終的には世界中の友達ができ楽しかった。

他にも、Ihouseでは正規のBerkeley生が住み込みでアルバイトをしていたり、寮のイベントを企画してくれたりするので、その点も良かった。しかし、期待していたCoffee Hourは2023年はなかった。年によるらしい。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

iCloudのアカウントをアメリカ設定でもう一つ作ることがお勧め。(日本のアカウントだと使えないアプリもいくつかあるので)「Citizen:Local Safety Alerts」というアプリは、周辺地域で起こった事件をマップ上で表示されるためよく確認していた。あとは現地の学生に危険なエリアを聞くのが一番手取り早い。

防犯対策については、当たり前だけど暗くなったら一人で出歩かない。サンフランシスコは屋でも治安が怪しいこともあるのでとにかく誰かと行動すること。私は現地の学生に勧められてPepper sprayをAmazonで買った。(コンサートとか荷物検査があるところでは没収されるので注意)

肌感として、盗難はそこまで心配しすぎなくて良いと思う。基本的に全てのことに對して、日本にいるときよりは少しアンテナを張って生活していれば危険な目に遭うことはない。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは、工事していたこともあり不安定なことも多かった。大学内にはwifiがあるので、どうしても際には大学の図書館などに行っていた。週末旅行などにいくと、大抵の自然は圏外なので、GoogleMapのオフライン版をダウンロードしておくのと良い。私はよくハイキングに行ったので、役だった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私はクレジットカードを使わず、VISAデビットカードで生活していた。残高が減り、足りないと思ったら親に連絡して入金してもらおうということを繰り返して、万が一盗難されても大金は失わないようにしていた。念の為、一枚だけクレジットカードは持っていった。アメリカの銀行口座を作ると便利。私は割り勘の時、現金やペイパルでやり取りしていたが、手数料など考えるとアメリカの銀行口座がないと作れないペイペイのようなアカウントでやり取りした方が楽だったと今考えると。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
カリフォルニアは基本的にアジア人が多く、その分ジャパントウンやアジアスーパーなど日本食はたくさん手に入った。ただし高いため、ある程度は持っていくことをおすすめする。特に味噌汁は定期的に飲んでた。 ヘアオイルは変えたとしても高いので、日本から持って行った方がよいと思う。その他の日用品は少し高くはなってしまうが現地で調達できる。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航前に指定のクレジットカードで支払った。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Digital Photography : Foundations	カメラ: 初心者
科目設置学部・研究科	
履修期間	6週間(SessionA)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が 4 回
担当教授	Arielle Rebek
授業内容	一眼で撮影し Adobe Lightroom Classic と Photoshop で編集する授業。初心者向けなので、カメラをいじったことのない人でも全然大丈夫。カメラも貸し出しあり。中間と期末で、テーマに沿って作品を作り、印刷して教室で展示会のようなことをする。その際の印刷代は実費で 30 ドルくらい出費がある。
試験・課題など	計2回の写真プロジェクト発表会
感想を自由記入	<p>いろんな専攻の人が、それぞれの感性で作上げる作品はどれも見応えがあり、お菓子を食べながらお互いにコメントし合うチルで穏やかな授業だった。数回、サンフランシスコにある美術館で授業があり、アートを楽しむことができた。少し授業時間が長く回数も多めだが、作業が終わったら早く帰れたり、外で撮影時間が設けられたあと自由解散の日もあったりした。取るなら、雰囲気や細かい感性を表現できる単語を知っているといいかもしれない。私は友達の作品を褒めたいのにいい言葉が見つからなくて悔しかった。</p> <p>先生がとにかく優しく、癒された。ちょうど夏終わりから育休を取られるとおっしゃっていたので、2024 年に復帰されるかはわからないが、とてもおすすめの授業。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Field Study of Buildings & Cities	フィールドワーク(建物や街の歴史)
科目設置学部・研究科	
履修期間	6週間(SessionA)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 480 分が 1 回
担当教授	Seth Lunine, Ph.D.
授業内容	「クラスメイトと遠足」の気分で履修したが、かなり体力奪われた。授業形態は 8:30 くらいに寮を出発して、電車の改札で 9 時に集合。そのまま夕方 5 時まで先生について行ってみんなで街を歩きます。先生がお昼休憩にルーズな方で 2 時~3 時がお昼休憩だったこともある。ちなみにお昼は自腹なので少し痛かった。5 時にその日のルートの最終地点で解散なので、結局寮に戻ってくるのは 6 時くらい。Bay Area を歩き、建物の歴史や、現在の街の構造などについて学ぶ。
試験・課題など	毎回のフィールドワークごとに感想・考察レポートを提出。期末レポートあり。 授業前に読んでいく資料が大量にあるが、正直読んでない人もまちまち。
感想を自由記入	疲れたが、個人的に貴重でものすごく有意義な授業だった。その地域に土地勘がなく、歴史もよくわからない私にとっては、先生がおっしゃっていることを聞き取って理解することに苦労することもあったが、優しいクラスメイトがメモをシェアしてくれるなど、なんとか乗り越えられた。Bay Area の歴史についての授業で、英語が完璧にわかったら本当に面白いんだろうなと思った。歩きながらクラスメイトと話したり、ランチを一緒に食べたり、クラスメイトとの交流も楽しめた。先生はとても温厚で話し方もゆっくりで優しい方だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Electronic Music Production & History	音楽の歴史と制作
科目設置学部・研究科	
履修期間	6週間(SessionD)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 3 回
担当教授	Ray Mederos
授業内容	一から Abelton live で作曲の仕方、Bay Area の音楽の歴史などを学んだ。先生が実際クラブの DJ で、とても可愛らしくて友達のような感覚で関わってくれる方だった。途中でゲストとして有名な DJ の方が作曲講座を開いてくださり、とても学びになった。 正直一番単位を取るのが簡単な授業で、どんなに自信のない作品でもとにかく課題を全て出せば満点をもらった。
試験・課題など	計3回の作曲発表
感想を自由記入	初心者向けの授業なので、作曲の知識が全くないなか参加したら、クラスの大半は作曲経験者だった。それでも初心者の子もいたし、上手い下手で先生も評価されるわけではないのでそんなに困らなかった。ただクラスメイトの前で曲を発表する時は少し恥ずかしかった。DJ の機材を持ってきてくださり、さわらせてもらうなど、作曲を含め今までやってきたことが叶えられてとても楽しかった。 ギャルな先生で、授業も和気藹々としていて楽しかった。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学から帰ってきてから初めても全く遅くはないが、企業分析や自己分析など、平日頃できることは留学前、留学中含めやっておけば良かったと思う。留学中は、急にインターンに参加しようとする、留学生活とどっちつかずになってしまうため、私は帰国後に参加できるものにエントリーする程度だった。留学中は思いっきり楽しめたので、悔いはない。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	明治大学へ出願・パスポート更新
留学開始年	1月～3月	ビザ申請・寮の確保・航空券購入・出願・履修
	4月～7月	留学
	8月～9月	旅行・帰国
	10月～12月	就活
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

普通に考えたら通うことのできないほどのハイレベルな学校で、優秀な仲間に出会って学んでみたいと思ったのがいちばんの理由。サマープログラムで授業をとっている学生のみならず、リサーチャーとして学校からお金をもらって研究をしている学生、PHDとして下記のみパークレーで研究をしている学生など、それぞれモチベーションが高く、人としても尊敬できる仲間に出会って毎日生活できた。頭がいいからといって堅苦しい人というわけではなく、普段遊んでいる時は、その頭の良さを忘れてしまうほど無邪気で童心を持ち心から一緒にはしゃげるような、そんな素敵な仲間に出会った。今までの人生で、ここまでついて行きたいと思える人に出会ったのは初めてだ。毎日のようにちよっかいをかけにい行き、暇さえあれば友達の部屋で集まり、「青春」を味わえたと思う。

同時期に日本にいた友達が、就活に悩まされているインスタのストーリーをみて、私はあえてアメリカに来て、たくさんの生き方を知り、とにかく人と触れ合って、広大な自然を感じて、一度自分の人生を俯瞰することのできる、貴重な時間になったと思う。人生学校を卒業して就職するだけが全てでもないし、就職した後でも留学はできるし、休学をして旅行をしてもいいし、特にヨーロッパなんかはより自由で面白い教育方法だと思った。

一人一人が意思をしっかりと持ち、自分のやりたいことに真っ直ぐで、1分たりとも時間を無駄にせずに生きているような人達に出会い、私も感化された。

思い出を全て綴るとキリがないので、もし詳細など気になることがあればいつでも連絡してください。